

21世紀ひょうご市民学会 会報

33号

2017年2月1日

—編集・発行—

21世紀ひょうご市民学会

「神戸生活創造センター」登録番号 630

代表 澤木昌典

<http://www.hyogo21ctzn.com>



◆◆◆ 活動報告 ◆◆◆

❖第1回 研究会を平成28年9月15日(木)に開催

見学会「今井町・檀原神宮」(案)について企画・検討しました(参加者5名)。

❖第44回 知的サロンを平成28年10月13日(木)に開催

奈良県橿原市今井町「重要伝統的建造物群保存地区」の歴史と町並み、檀原神宮の概要(参加者6名)

❖平成28年11月26日(土)に見学・研修会を開催

「橿原市・今井町及び檀原神宮見学・研修の旅」(9名参加、詳細は2頁に掲載)

❖第45回 知的サロンを平成28年12月22日(木)に開催

次回の見学会を、大阪市天王寺区「てんのうじ七坂」「四天王寺」とし、3月下旬と決定(参加者4名)

❖第2回 研究会を平成29年1月12日(木)に開催

アンチエイジングについて、ドナルド・クラッツ/ロバート・ゴールドマン著「革命アンチエイジング 若々しく美しく元気に生きる」を紹介(参加者5名)

❖第3回 研究会を平成29年2月9日(木)に開催予定

テーマは「アンチエイジングとサプリメント」、「革命アンチエイジング 若々しく美しく元気に生きる」の紹介(2)を予定(話題提供:松原宏治氏)

お知らせ

■□■ 3月の見学会について ■□■

実施日:平成29年3月18日(土) 10:30集合

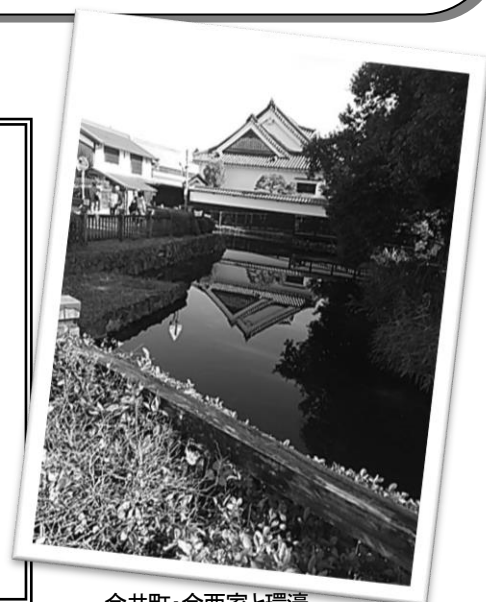
集号場所:地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽が丘」駅
天王寺方向の改札口

コース:「四天王寺」→(昼食)→

「一心寺」「てんのうじ七坂」全コース

解散:地下鉄「谷町九丁目」 16:00

案内:天王寺区観光ボランティアガイド



今井町・今西家と環濠

見学研修会 平成28年11月26日(土)

「檀原今井町・檀原神宮見学・研修の旅日記」

平成28年11月26日(土)、かねて予定の奈良県檀原市の江戸時代の町並み「今井町」と神武天皇が祀られている「檀原神宮」の見学・研修の旅が実施されました。集合は近鉄・八木西口駅西出口午前11時。参加者は澤木会長ほか会員と同家族・知人の計9名でした。

■今井町(奈良県檀原市今井町)の散策



今井町の町並み散策

八木西口駅を出て、ガイドの尾島さんに引率され、飛鳥川沿いにしばらく南下し、赤い橋(蘇武橋)を渡るともう今井町!江戸時代、今井町には約千軒が東西約600m・南北約300mの地に集まり、米・酒(酒造)・肥料・金物などの商工業や金融業などが栄え、町は、周囲にお堀を築いて外からの攻撃に備えたとされています。

その名残を示すかのような大型の商家や酒屋が、碁盤の目のように組まれた通路に面して並び、それらが当時の町の繁栄振りを感ぜさせました。当地は重要伝統的建造物群保存地区に指定されていることもあって、主な通りでは電線の地下埋設や建物の整備などもかなり手広く進んでいるようでした。

また江戸時代、今井町には町の繁栄を守る自治組織が発達していて、それを象徴する建物も残っていました。私たちはそのうち16世紀に建てられ、17世紀に改築された今西家(八つ棟造り)に入りました。お裁き場や牢屋も持つお城のような建物に当地の自治体制の強さを感じました。西側にはお堀の一部が復元されていました。江戸時代で時間が止まった今井町。現代と江戸時代をつなぐ「パイプ役」としての役割は大きいと思いました。

その後、私たちは今井町発祥の基になった「称念寺(真宗本願寺派)」を簡単に見て、次の訪問地である檀原神宮へと足を速めました。

■檀原神宮(檀原市久米町)

午後1時過ぎ、私たちは近鉄檀原線八木西口駅から南へ2つ目の檀原神宮前駅で降り、檀原神宮に向かいました。

資料によりますと、檀原神宮(祭神は神武天皇とその皇后)は明治23(1890)年、神武天皇即位の日本書紀の記載をもとに、畝傍山の南東麓、約50万㎡の神域内の現在地(檀原市久米町)に建てられました。同神宮は約10万本の木々に回りを囲まれ、本殿や神楽殿のほか、その後の整備による内拝殿、外拝殿、回廊など多くの建物や構築物から成っていました。私たちは表参道から二つの鳥居、手水舎、南神門と通り、玉砂利の敷かれた広大な庭を、通常参拝用の外拝殿(げはいでん)に入りました。外拝殿(昭和14年築)は両側に長い回廊を連ねた壮大な入母屋造りの建物で、遠くから見れば極めてシンプルですが、それが却って見る者に厳しさを生んでいました。中に入ると正面の広い庭を隔てて、向正面に内拝殿(普段は入れない)が見えました。外拝殿回廊にはいわゆる神武東征を題材とした大きな絵画がズラリと並び、檀原神宮の謂われを象徴していました。



檀原神宮鳥居の下で

私たちの今回の檀原神宮散策は、事実上ここで終わりましたが、神話ではあるにしても、初代天皇即位の地の厳かさと、内外拝殿を通して発せられている突き刺すような精気を感じた見学の旅でした。午後3時20分過ぎ、大和八木駅発急行で帰路の神戸方面へ向かいました。(苗村記)

あとがき



当学会運営のお世話をされている松原世話人の奥様が、昨年末にお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り致します。

21世紀ひょうご市民学会ホームページ <http://www.hyogo21ctzn.com> をどうぞご覧下さい。ホーム(最新情報・お知らせなど)、活動内容、知的サロン、研究会、会報、入会案内など詳細が掲載されています。